

山梨県内の高年齢労働者における労働災害発生状況と防止対策

高年齢労働者の安全と健康確保のために



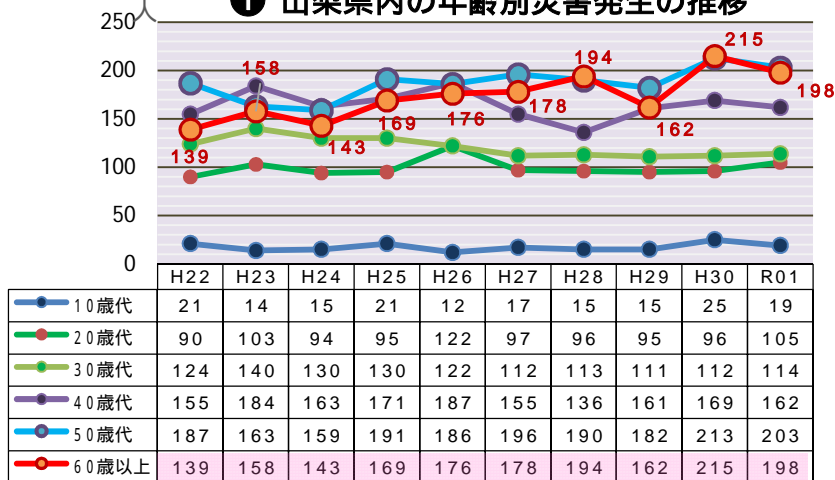
山梨労働局 労働基準部 健康安全課

働く高齢者が増えています。総務省の労働力調査によれば、60歳以上の雇用者数は過去10年間で1.5倍にも増えており、特に、商業や保健衛生業をはじめとする第三次産業において、働く高齢者が増加しています。

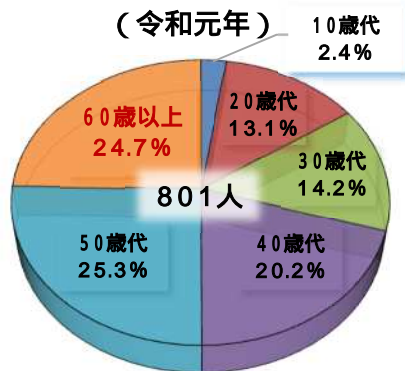
こうした中、令和元年の全国における休業4日以上死傷者の26.8%が60歳以上と増加傾向にあり、死亡災害は36.4%を占めています。一方、山梨県内の60歳以上の休業4日以上死傷者も24.7%と増加傾向で、過去10年間の死亡災害については、35.1%と最も多くなっています。高齢者は身体能力が低下すること等により、若年層に比べ災害発生率が高く、休業日数も長期化しやすくなっています。

厚生労働省では、令和2年3月に「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）を策定しました。各事業場におかれては、高年齢労働者を含め働く人の労働災害防止を図るため、労使一丸となって職場環境改善や安全衛生教育等への自主的な取組を一層強化していただくようお願いします。

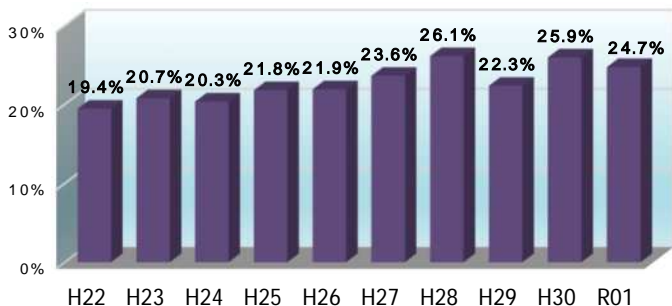
① 山梨県内の年齢別災害発生の推移



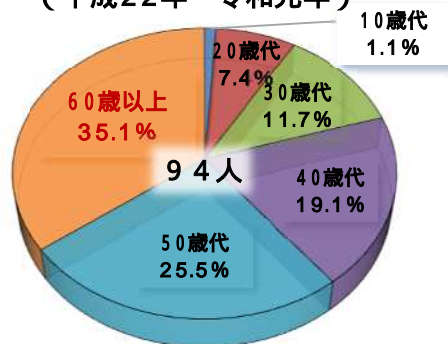
③ 年齢別 死傷者割合 (令和元年)



② 60歳以上の死傷災害割合の推移



④ 年齢別 死亡者割合 (平成22年～令和元年)

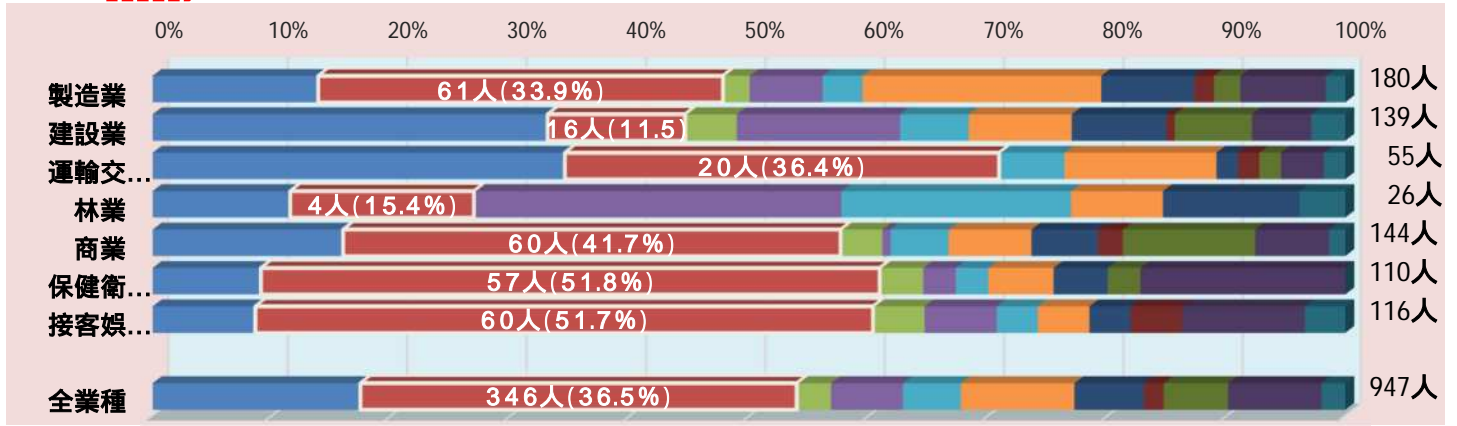


～ 山梨県内の高年齢労働者による労働災害の発生傾向 ～

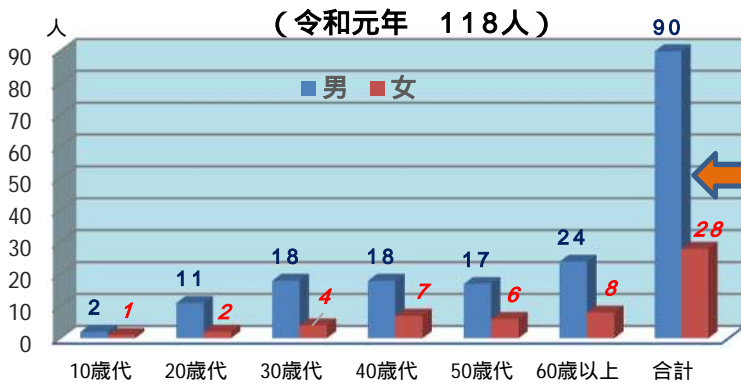
- ①② 山梨県内の過去10年間に発生した休業4日以上労働災害を年齢別に見ると、平成27年までは50歳代が最も多かったが、近年は60歳代が増加傾向で、仕事にけがをする方の4人にひとりが60歳以上の高年齢労働者となっています。
- ③④ 山梨県における令和元年の休業4日以上死傷者を年齢別に見ると、60歳代、50歳代で全災害の半数を占めています。また、過去10年間に発生した死亡災害（94人）については、60歳以上が35.1%（33人）と最も多くなっています。
- ⑤ 山梨県の過去5年間に発生した60歳以上の休業4日以上死傷者を業種別・事故の型別で見ると、製造業、運輸交通業、商業等の第三次産業において転倒災害が多く、全業種でも36.5%と4割近くを占めています。
- ⑥⑦ 山梨県における令和元年の休業4日以上死傷者について、事故の型別で見ると、墜落・転落災害では男性が、転倒災害では女性が多くなっており、特に、60歳以上の女性による転倒災害が多く発生しています。

⑤ 平成27年～令和元年 業種別・事故の型別発生状況（60歳以上 947人）

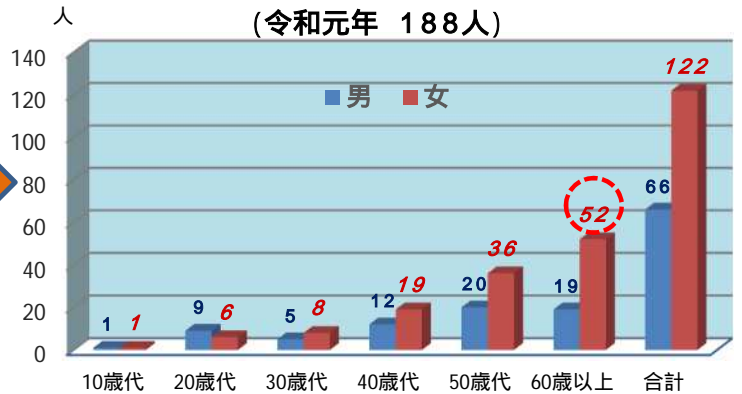
■ 墜落・転落 ■ 転倒 ■ 激突 ■ 飛来・落下 ■ 激突され ■ はさまれ ■ 切れ・こすれ ■ 高・低温物との接触 ■ 交通事故 ■ 動作の反動 ■ その他



⑥ 墜落・転落災害の年齢別・男女別発生状況（令和元年 118人）



⑦ 転倒災害の年齢別・男女別発生状況（令和元年 188人）



「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」概要（エイジフレンドリーガイドライン）



このガイドラインは、高齢者を現に使用している事業場やこれから使用する予定の事業場で、事業者と労働者に求められる取組を示したものです。働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場を目指しましょう！！

全文はこちら

事業者求められる事項

事業者は、以下の1～5について、高年齢労働者の就労状況や業務の内容等の実情に応じ、国や関係団体等による支援も活用して、実施可能な労働災害防止対策に積極的に取り組むよう努めてください。

- 安全衛生管理体制の確立**
 - 経営トップ自らが安全衛生方針を表明し、担当する組織や担当者を指定します
 - 高年齢労働者の身体機能の低下等による労働災害についてリスクアセスメントを実施します
- 職場環境の改善**
 - 照度の確保、段差の解消、補助機器の導入等、身体機能の低下を補う設備・装置の導入などのハード面対策
 - 勤務形態等の工夫、ゆとりのある作業スピード等、高年齢労働者の特性を考慮した作業管理などのソフト面の対策も実施します
- 高年齢労働者の健康や体力の状況の把握**
 - 健康診断や体力チェックにより、事業者、高年齢労働者双方が当該高年齢労働者の健康や体力の状況を客観的に把握し、労働安全衛生法で定める雇入時および定期的健康診断を確実に実施します
- 高年齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応**
 - 健康診断や体力チェックにより把握した個々の高年齢労働者の健康や体力の状況に応じて、安全と健康の点で適合する業務をマッチングします
 - 集団及び個々の高年齢労働者を対象に身体機能の維持向上に取り組めます
- 安全衛生教育**
 - 十分な時間をかけ、写真や図、映像等文字以外の情報も活用した教育を実施します
 - 再雇用や再就職等で経験のない業種や業務に従事する高年齢労働者には、特に丁寧な教育訓練を実施します



通路を含め作業場所の照度を確保する



解消できない危険箇所に標識等で注意喚起

労働者に求められる事項

事業者が実施する労働災害防止対策の取組に協力するとともに、自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、自らの健康づくりに積極的に取り組むよう努めます

【具体的な取組】

- 健康診断等による健康や体力の状況の客観的な把握と維持管理
- 日常的な運動、食習慣の改善等による体力の維持と生活習慣の改善

